

介護事業所における感染対策 (結核について)

小樽市保健所健康増進課

結核とはどんな病気？

空気中にただよう結核菌が
肺に入って感染し、それによって起こる病気です。



タンのからむ咳・微熱・身体のだるさが
2週間以上続いている

咳



微熱



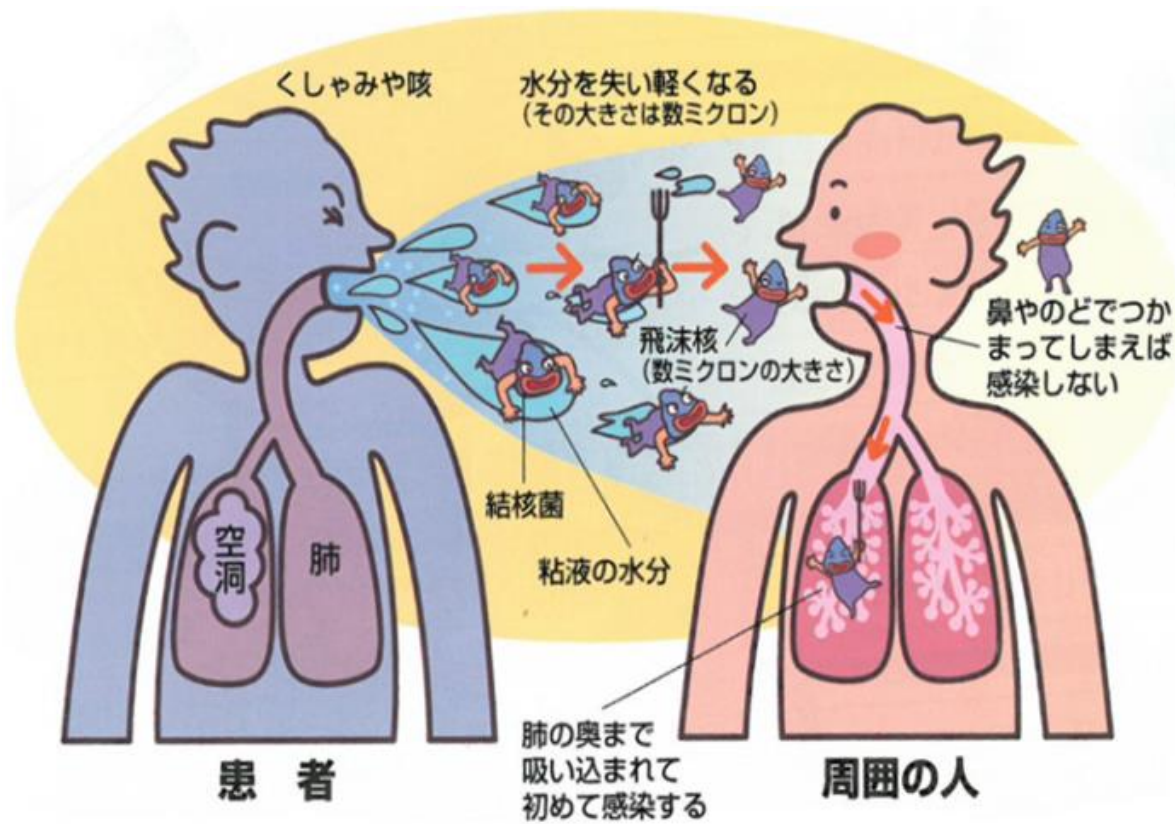
身体の
だるさ



結核の常識2024
(<https://www.jatahq.org/wp-content/uploads/2024/07/bcbb861fb80ec016e5b006303d0d4398.pdf>)

今でも1日に28人の新しい患者が発生し、
5人が命を落としている日本の重大な感染症です。

結核とはどんな病気？



結核予防会：結核の常識 2007, 2, 2007

①感染してもすべての人が発病するわけではありません。

②加齢や病気などで免疫力が落ちると、抑え込まれていた結核菌が再び活動をはじめ、発病することがあります。

③感染していても発病していない潜在性結核感染症の人は、結核の薬を3か月から6か月飲むことで発病を予防できます。

結核とはどんな病気？

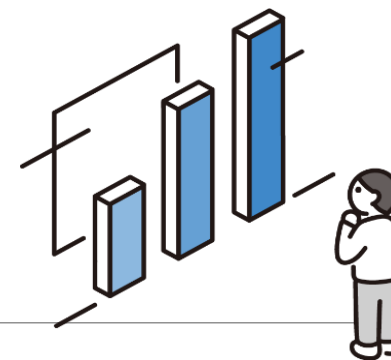


風邪のような症状がずっと続きます。

高齢者の場合は、咳や痰などの症状が出にくく、微熱だけが続くこともあります。

「食欲が落ちる」「体重減少などの状態が続く」「繰り返す肺炎」などのときは、結核の疑いの目をもって、再度かかりつけ医にみてもらう必要があります。

結核の現状

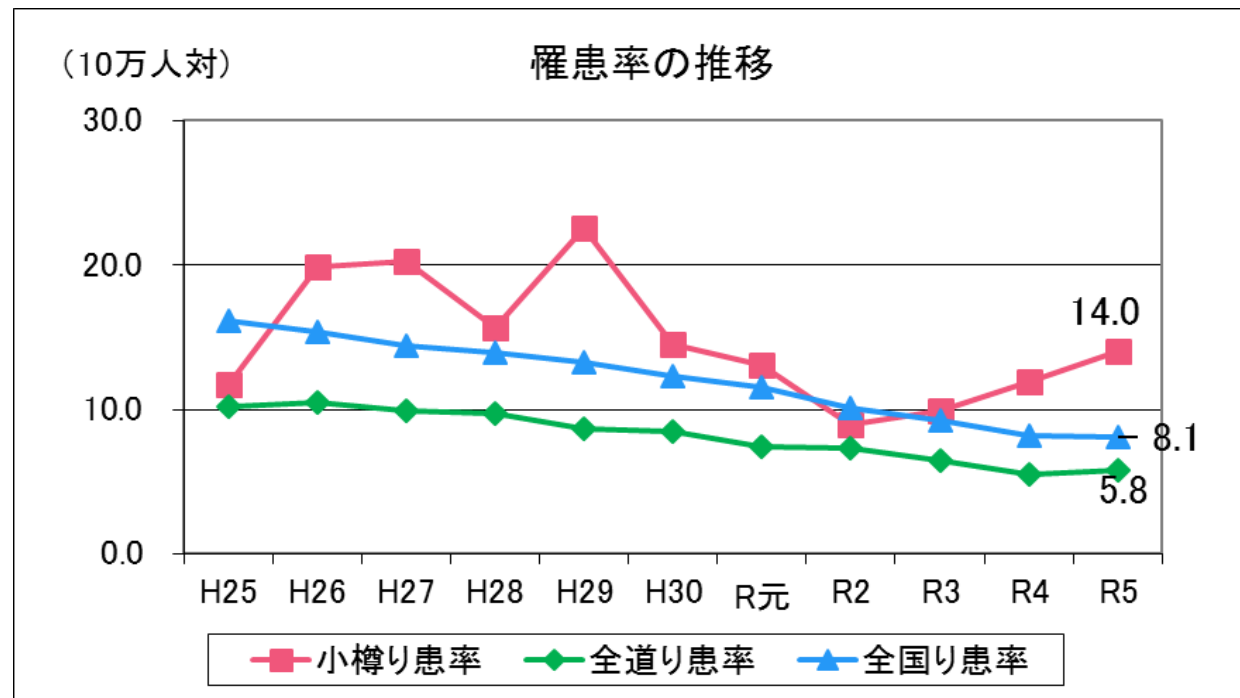


1 令和5年(2023年)の新登録患者数及び罹患率

	新登録患者数 ※1	罹患率 ※2
全国	10,096	8.1
北海道	297	5.8
小樽市	15	14.0

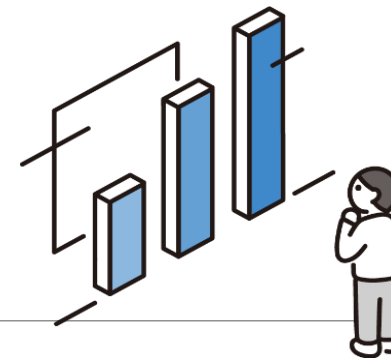
※1 1年間に新たに結核を発病し登録された者

※2 新登録患者数を人口10万対で示した数字



●罹患率は全国、全道と比較しやや高い

結核の現状

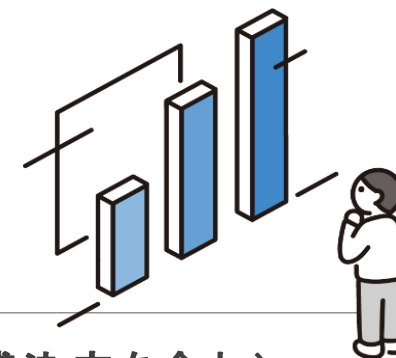


2 令和5年小樽市の新登録患者の状況（潜在性結核感染症を含む）

年齢	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	計
人数	0	2	1	1	2	1	4	13	24
割合	0.0%	8.3%	4.2%	4.2%	8.3%	4.2%	16.7%	54.2%	—

●例年、高齢者の割合が多い。

結核の現状



3 近年の小樽市における外国籍患者の状況（潜在性結核感染症を含む）

年度	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
件数	4	0	1	0	2	4

●外国籍患者は毎年ではないものの、発生がみられている。

※令和5年 全国統計より

- ・結核患者のうち外国出生数：1,619人（16.0%）
- ・20-29歳新登録者のうち、外国出生結核患者数：884人（84.8%）
- ・30-39歳新登録者のうち、外国出生結核患者数：334人（61.6%）

日本の結核の現状

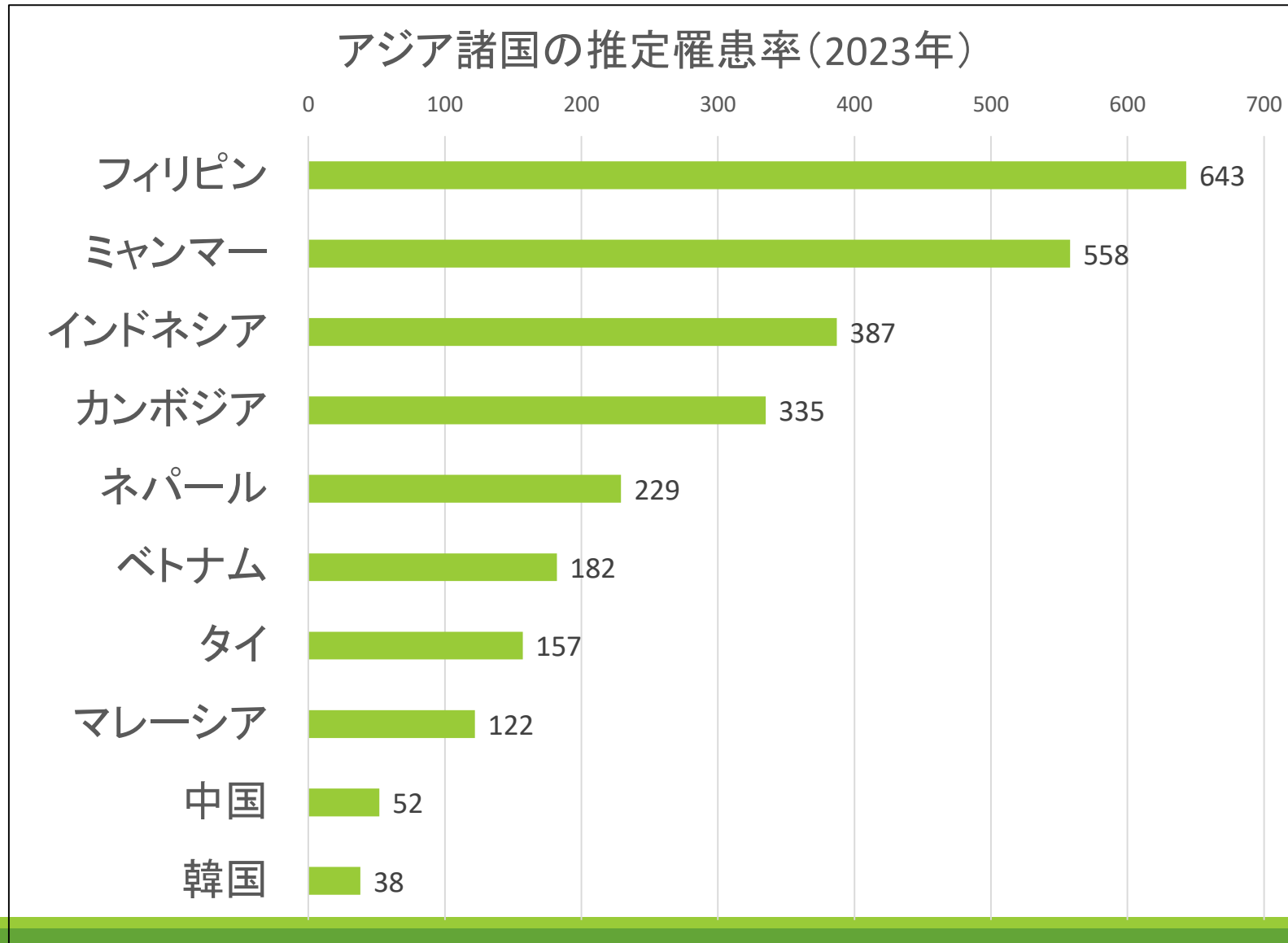
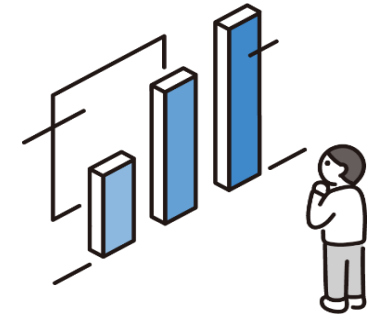


- 新登録患者全体に占める高齢者の割合が6割以上
→高齢者の結核の特徴を理解する事が大事

- 若年層では外国出生結核の割合が高い
→日本語学校の学生や技能実習生、高蔓延国からの帰国者は要注意

- 働き盛りの年齢層の受診の遅れが高い
→一般の人へ向けての啓発、企業での健康管理は勿論だが、契約社員等の健診の対象にならない人にも目を向ける必要がある

外国の結核の状況



※日本の罹患率
昭和26年698.4
令和5年 8.1

【WHO Global TB Report2024】

結核の検査について

感染を知る検査

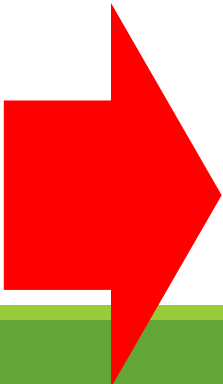
- ツベルクリン反応検査
- IGRA検査（血液検査）



発病を知る検査

- 胸部X線検査
- 菌検査（喀痰検査など）



- 
- 感染しているが発病していなければ 潜在性結核感染症
 - 感染していて発病もしていれば 活動性結核
 - 肺結核は発病の状態なので、診断は発病を知る検査

健康診断について



○ 健康診断の実施(労働安全衛生法第66条)

受け入れ企業は、技能実習生を雇い入れたとき、および一定期間ごとに、健康診断を実施しなければなりません。

- ・雇い入れ時健康診断…労働者を雇い入れたときに実施
- ・定期健康診断…1年以内ごとに1回、定期に実施
(常時深夜業等に従事する者については、6月以内ごとに1回の健康診断が必要です)
- ・特殊健康診断…有害業務を行わせる場合、一定期間ごとに実施

特殊健康診断の必要な有害業務

特定化学物質の製造または取り扱い業務、鉛業務、四アルキル鉛等業務、
屋内作業所・タンクの内部などにおける有機溶剤の製造または取り扱い業務、粉じん作業 など

入国前結核スクリーニング開始予定



ひと、くらし、みらいのために
厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

↑ ホーム

▼ 本文へ ▶ お問い合わせ窓口 ▶ よくある御質問 ▶ サイトマップ ▶ 国民参加の場

Google カスタム検索

テーマ別を探す

報道・広報

政策について

厚生労働省について

統計情報・白書

所管の法令等

申請・募集・情報公開

↑ ホーム > 政策について > 分野別の政策一覧 > 健康・医療 > 健康 > 感染症情報 > 入国前結核スクリーニングの実施について Japan Pre-Entry Tuberculosis Screening (JPETS)

健康・医療

入国前結核スクリーニングの実施について Japan Pre-Entry Tuberculosis Screening (JPETS)

トピックス Topics

スクリーニングの概要 Outline of the Screening

関連リンク

結核は、結核菌によって発生する我が国の主要な感染症の一つです。毎年新たに10,000人以上の患者が発生し、約1,500人が死亡しています。近年、我が国においては外国生まれの患者数が増加傾向にあり、令和5年の新登録結核患者数（10,096人）のうち外国生まれの患者数は1,619人となりました。特に、多数に感染させる可能性の高い若年層においては、新登録結核患者数の大半を外国出生者が占めています。

このような我が国における結核患者の発生状況に鑑みて、特に我が国における結核患者数が多い国の国籍を有する者のうち、我が国に渡航して中長期間在留しようとする者に対し、入国前に結核を発病していないことを求める入国前結核スクリーニングを開始することとしました。

政策について

分野別の政策一覧

健康・医療

健康

食品

医療

医療保険

医薬品・医療機器

厚生労働省ホームページより

介護職のみなさんへ



日々の健康観察や
定期的な健康診断を通して
早期に患者さんを見つけられるよ
うにお願いします

介護職のみなさんへ



職員のみなさんも

1年に1度は

胸部エックス線検査を

受けましょう

症状がある時には、早期に受診

しましょう

結核参考資料



結核研究所ホームページに載っています



公益財団法人 結核予防会
結核研究所

各種お問い合わせ 採用情報 ご寄附による活動 アクセス サイト内検索 [ENGLISH](#)

研究所について 研究・業務 研修 日本の統計 資料・勧告集 結核について





公益財団法人
結核予防会結核研究
所

〒204-8533
東京都清瀬市松山3-1-24
[アクセスはこちら](#)

TEL. 042-493-5711
FAX. 042-492-4600

研究所について

概要
組織
沿革／年表
アクセス

日本の統計

研究・業務

研究倫理規程に基づく情報公開
連携大学院

資料・勧告集

資料・勧告集
感染症法関連資料

研修

国内研修
国際研修

結核について

結核の常識
結核の基礎知識
結核に関するQ&A

各種お問い合わせ

研修申し込み
検査申し込み
講師依頼
入国前結核スクリーニング
帰国時結核治療支援
外国人結核電話相談
その他お問い合わせ
よくあるご質問
プライバシーポリシー



企業で役立つ結核の正しい知識 (2016. 7)



外国人技能実習生を受け入れる企業向け結核パンフレットを作成しましたのでご活用ください。

結核研究所ホームページより

企業で役立つ 結核の正しい知識

【外国人技能実習生を受け入れる企業向けパンフレット】



平成 28 年 7 月
公益財団法人結核予防会
総合健診推進センター 第一健康相談所
結核研究所 対策支援部保健看護学科

目次

- 1. 職場の同僚が結核の治療をしています・・・・・・・・・・ 1P
- 2. 日本の結核状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3P
- 3. 結核の感染について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4P
- 4. 結核の発病と治療について・・・・・・・・・・・・・・・・ 8P
- 5. 事 例・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11P
- 6. まとめ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15P

結核研究所ホームページより

まとめ

- 日本の結核は高齢者が多いが、次いで外国出生の若い世代に多い
- 日本に来ている外国人は、結核高蔓延国からが多い
- 結核は症状で受診と健診（胸部X線）で見付けていく
- 介護サービスの利用者さんの健康観察が大切
（高齢者は咳や痰などの症状が出にくい）
- 介護職のみなさん自身の健診受診、体調管理も大切です



結核・感染症の担当部署

小樽市保健所 健康増進課

小樽市築港11番1号ウイングベイ小樽1番街4階

(令和6年12月2日移転しました)

☎ 0134-22-3110

(健康増進課直通)

